

工種 改良舗装工事	工種 改良舗装工事	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。					
		【評価対象項目】 【共通】 <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 使用する材料の規格がミルシート等で確認できる。 【土工・路盤関係】 <input type="checkbox"/> 3. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。掘削面以下を乱さないよう置き換えを行うことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 設計図書に定められた試験方法でC.B.R.値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路盤工の施工に先だつて、路床面、下層路盤面の浮き及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 構造物周辺の締固工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 補強盛土工等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 【コンクリート関係】 <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 6. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 側溝等(理由等関係) <input type="checkbox"/> 8. 芝又は種子吹付等を適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 法面にクラックや損傷部がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 側溝等にクラックや損傷部がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 側溝等の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 側溝等底部の凹凸や蛇行がなく施工がされており、側溝の接続と目地が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 側溝等底部の凹凸や蛇行がなく施工がされており、側溝の接続と目地が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 側溝等底部の凹凸や蛇行がなく施工がされており、側溝の接続と目地が適切に行われていることが確認できる。		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

良、装事
改舗工

- [アスファルト舗装関係]
 25. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
 26. 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去してから施工していることが確認できる。
 27. フラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
 28. 舗設後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
 29. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められていることが確認できる。
 30. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
 31. 縦目地及び横目地の位置・構造物との接合面の処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
 32. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
 33. その他（理由）

● 判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90 %以上	a	a'	b	a'
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。